

新幹線整備の実現を目指して

中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議は、中海・宍道湖・大山圏域の市町村、市町村議会、経済団体により令和元年5月に設立されました。山陰の2つの新幹線（伯備新幹線、山陰新幹線）の整備実現を目指し、官民が一丸となり取り組んでいます。

令和4年11月17日には、圏域5市長が本推進会議を代表し、国土交通省鉄道局の奥田官房技術審議官と面会し、以下の要望を行いました。

- 「伯備新幹線及び山陰新幹線の早期実現」
- 「地元負担のあり方の見直し」
- 「並行在来線の経営分離の見直し」
- 「新幹線整備にかかる予算総枠の拡大」

問い合わせ

中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議事務局
（松江市交通政策課） TEL 0 8 5 2 - 5 5 - 5 6 6 1

団体の活動や事業の内容については、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議ホームページ（上2次元コード）またはFacebook（下2次元コード）でご確認ください。



▲（左から）飯塚出雲市長、伊木米子市長、奥田官房技術審議官、上定松江市長、田中安来市長、伊達境港市長

生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わうために

8020（ハチマルニイマル）運動を知っていますか。「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。

親知らず（智歯）を除く28本の歯のうち、少なくとも20本以上自分の歯があれば、ほとんどの食物を噛みくだいて、おいしく食べることができると言われています。楽しく充実した食生活を送り続けるためには、健康な歯を保つことが大切です。

安来市では、毎年80歳を迎える人へ歯と口の健康に関するアンケート調査を実施し、20本以上自分の歯がある人を表彰しています。

令和4年度の8020達成者状況

対象者 447人

8020達成者 63人

アンケート調査の結果、8020達成者のうち、85%の人がかかりつけの歯科医療機関をもち、60%の人が定期的に受診をしていました。

また、達成者が歯の健康のためにしていることとして、「1日1回以上は丁寧に歯磨きをする」、「歯間ブラシ、デンタルフロス等を使う」、「食事のときにしっかり噛んだり固いものを食べたりする」と

回答している人が多くいました。

島根県でも「8020よい歯のコンクール」を開催し、8020運動の重要性を啓発しています。令和4年度は、安来市から藤原武昭さんと藤原奈留美さんのお2人が優良賞を受賞しました。歯の健康の秘訣をお2人に聞いたところ、「歯磨きが一番。毎食後に歯磨きと歯間ブラシを使っています。あとは3カ月に1回歯科にクリーニングに通っています。」と話していました。



いつまでも美味しく食べ続けるための元気な歯は、日々のお手入れから始まります。歯を失う2大原因は歯周病とむし歯です。妊産婦を含めて生まれてから高齢期までの全てのライフステージで健康な歯を保つため、かかりつけ歯科をもち、定期的に歯科健診を受けて、8020達成を目指しましょう。

問い合わせ いきいき健康課 TEL 2 3 - 3 2 2 0